

国際農業工学レポート

産学官の連携について

産学官の連携について、昨今の公共事業の効率的・効果的な実施や国際化の進展に耐え得る競争力の高い農業の育成に対する強い要請から、さらなる新技術の開発及び普及が緊急の課題となっており、新しい「食料・農業・農村基本計画」の推進に資する新技術の開発が強く求められている、というのは農林水産省の「官民連携新技術研究開発事業」の要綱である。このためには農業工学分野においても生産に大きくかかわる基盤の部分として効率化を進める新技術の開発が求められる。その際、国と現場との連携により、求められる新技術の研究を進め、実用化していくこと、そして、教育機関は研究と同時に専門家の育成を行うことで継続的に研究、開発が行われていくのである。

ストックマネジメントにおける連携

現在、かつて高度経済成長期に広く建設された農業水利施設の老朽化が進行しており、それに伴って施設の長寿命化にかかわる対策を広く実施していき、設備の整備、補修点検や必要に応じて更新していかなければならない。しかし、広範囲での設備のメンテナンスには制限のある予算状況の中ではより効率的な施設の機能保全を行っていく必要がある。農業水利施設は国有財産であるが、その管理・運営は土地改良区等が利用者である農家の費用負担によって行っている。このため、より効率的な運営のためには国の方では施設の機能診断等の技術的支援や突発的に発生する事故への対策を進めつつ、機能診断の結果や、求められる対策について農業者と積極的に情報交換を行っていく必要があるだろう。